

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372700456
事業所名	恵寿荘認知症対応型共同生活介護事業所

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2) 町内会に入会し、民生委員が運営推進会議に出席しており、地域の情報を得ている。恒例となっている小学校の「ふれあい会」は、30名ほどが来訪して、七夕飾りを一緒に作って楽しんでいる。この地域で初めての認知症カフェ「オレンジカフェ」に利用者と共に参加して、地域の人との交流を予定している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3) 運営推進会議は、家族会と共に行っており、市職員や地域包括センター職員、民生委員が毎回出席している。家族会では、スライドが上映されており出席者が、利用者の日常の様子から事業所を深く知る事が出来る良い機会となっている。出席者から、それぞれの立場での意見が出され、面会時の声かけ方法の工夫なども速やかに話し合わせ、実践されている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携(外部評価項目:4) 役所へは、いろいろな手続きや利用者についての相談事などで直接出向き、助言や情報ももらっている。市の介護事業の中の認知症予防講習を毎月2回依頼されている。年に4回は、市から相談員が訪れ、利用者からの聞き取りを行っている。この地域で、初めての認知症カフェ「オレンジカフェ」に参加する予定になっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6) 家族会を運営推進会議と共に行い、家族が要望や意見を出し易くなっている。利用者や家族から面会時や日常生活の中で聞き取りを重ねてノートに記し、話し合いの上で支援に反映出来るようにしている。「グループホームだより」は、2ヶ月に1回発行され家族に送付されている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				